





ファイターズ戦にご招待!

厚真町応援デー

北海道日本ハムファイターズでは5月6日(日)14時から札幌ドームで開催される 千葉ロッテマリーンズ戦のC指定席に町内にお住まいの方50組100人をご招待します。 ※応募多数の場合は抽選となります。

球団ウェブサイトからお申込みください。

○パソコンの場合

http://www.fighters.co.jp/kansen/にアクセスし、申込フォームに 申込方法 必要事項をご入力ください。

> ○スマートフォン・携帯電話の場合 右のQRコードからアクセスし、申込フォームに所定事項をご入力ください。



申込期間 | 3月1日(木)~3月15日(木)

・当選者の方で別の席種を希望される場合は、試合日当日に札幌ドーム場内前売券売場で座 席変更を受け付けします(有料・席数限りあり)。

その他

・ 当落通知は、試合日の1週間前までにメールで送付します。 (fighters.co.jp) および (fmail.fighters.co.jp) の各ドメインからのメールを受信できる よう事前に設定をお願いします。

・ご応募いただいた個人情報は㈱北海道日本ハムファイターズが適切に管理し本件を含むチ ケット関連のダイレクトメール・アンケート等による案内以外には利用されません。

注意事項

会場内でファウルボールや折れたバット等により負傷された場合、応急処置はしますが、主 催者・球場管理者に帰責事由がある場合を除き、その後の責任は負いかねますので、ご了承 ください。

問い合わせ │ 北海道日本ハムファイターズ お客様センター ☎011-857-3939



平成30年度 放課後児童クラブ (学童保育)利用募集

平成30年4月から「放課後児童クラブ」(学童保育)を希望する児童を募集します。

対	象	小学校1~6年生
開設時	間	小学校の授業日 ▶下校時~18時30分 土曜日・学校休業日 ▶8時30分~18時30分 (日曜日、祝日、12月31日~1月5日を除く)
利用	料	1カ月 1,000円/1人
受付期	限	2月16日 (金) まで
	_	教育委員会社会教育グループ 上厚真支所

※申請書は1月中旬に各小学校を通じて配 布しています。

※新入学児童は、各こども園を通じて申請 書を配布しています。こども園に入園され ていない方へは郵送しています。

※平成29年度に登録しているお子さんも 申し込みが必要です。

問い合わせ 教育委員会 社会教育グループ **☎**27-2495



まちなか交流館通しゃべーる





4月から3年間、引き続き「ゆうあいネットあつま」が運営します

平成 27年4月から町の指定管理者として、特定非営利活動(NPO)法人ゆう あいネットあつまが、まちなか交流館「しゃべーる」を運営してきました。

本年3月をもって3年間の指定期間は終了しますが、平成30年度から平成32年 度まで、引き続いて運営することが、12月の町議会で決定しました。

参考となる類似施設がないことから、この3年間は手探りでの運営となりました が、町民の皆さんのご理解とご協力により多くの皆さんの「憩い・語らいの場」と して定着をしてきました。

3年間の経験を生かし、より多くの皆さんに親しまれる施設として成長していき たいと思いますので、よろしくお願いします。



「コミュニティ・カフェ」ってなぁに?

⊗地域の人と人を結ぶ交流の場⊗

「しゃべーる」のようなコミュニティ・カフェは、普 換することに重きを置いているのが特徴です。

空き家・空き店舗・自宅などを利用して、毎日開催か で、利用者は男性が少なく、女性の利用者が圧倒的に ら週 1 日までさまざまなカフェがあります。

域の住民の手作り品を販売したり、地産地消の食材をミュニティ・カフェです。 利用した飲食を提供したりと、内容もカフェによって 男性の参加率を高め、定年や現役を引退した後の活 異なります。

利用者は高齢者や子育て世代が多く、障がい者の就 大きな鍵となるでしょう。 労支援においても一端を担っています。

※課題は、男性の利用者が少ないこと※

コミュニティ・カフェの多くはボランティアによっ 通のカフェと違い、地域社会の中で人と人を結ぶ「た て運営されており、赤字の施設も多いのが現状で、自 まり場」「居場所」と定義されています。全国に約3万 治体の助成金や補助金なし(厚真町の場合は、町の指 カ所あるといわれ、地域住民が集い、交流し、情報交を定管理事業として運営)には存続が難しいのが現状で

その運営は、NPO法人や任意団体、個人が中心で、また認知度の低さから、決まった顔ぶれになりがち 多くなっています。

飲食スペースが設けられているほか、イベントやワー 少子高齢化時代を乗り切るには地域コミュニティの クショップを行ったり、展示スペースを設けたり、地 再生が必要であり、その中核として期待されるのがコ

躍場所であり居場所として活用できるかといった点が



齢 おおむね60歳以上

主な業務 カフェでの調理や接客

務 週2~3日 (シフト制)、10時~18時のうち約4時間

問い合わせ まちなか交流館「しゃべーる」 ☎29-7022(深澤館長)

館長のつぶやき

「しゃべーる」では、出来るだけ地元の食材を利用してランチを提供しています。一部はスーパーな どから購入するので、新聞のチラシは必須情報。それにしても、野菜類が高いのには驚きです。

広報あつま 広報あつま H30.2 2018.2